

MOBILE SUIT LM312V04+SD-VB03A Gundam Models Designed and Produced by Ka. V-DASH GUNDAM "Ver.Ka"

SPECIFICATION / MODEL NUMBER : LM312V04+SD-VB03A HEIGHT : 15.2m WEIGHT : 9.2t
FULLY EQUIPPED WEIGHT : 20.8t GENERATOR OUT PUT : 4970kw THRUSTER : 29010kg X 2 / 4420kg X 8
APOGEE-MOTOR : 36 MATERIAL : GUNDARIUM ALLOY & SUPER CERAMIC COMPOSITE ARMAMENTS / HEAD VULCAN
GUN X 2 BEAM SABER X 2[2] BEAM SHIELD X 2 BEAM RIFLE X 1 BEAM SMARTGUN X 1 HARD POINT X 12
CONSTRUCTOR:LEAGUE MILITAIRE

MOBILE SUIT LM312V04+SD-VB03A Gundam Models Designed and Produced by Ka. V-DASH GUNDAM "Ver.Ka"

MG LM312V04+SD-VB03A V-DASH GUNDAM "Ver.Ka"

Instruction making staff
Produce/direction : KATOKI HAJIME
Edition : OMORI SHUNSUKE(GUNDAM A)
Design : SAITO DAISUKE
Writing : KOBAYASHI TETSUYA
 : MITARAI KOJI
Photo : HONDA KEIGO(ENTANIYA)
Coloring : MATSUMOTO TAKASHI
Marking : KONNO YUJI(JAM)



L.M./MULTIPLE MOBILE SUIT
U.C.0153 LEAGUE MILITAIRE

BANDAI 2010 MADE IN JAPAN ※写真の完成品は塗装してあります。



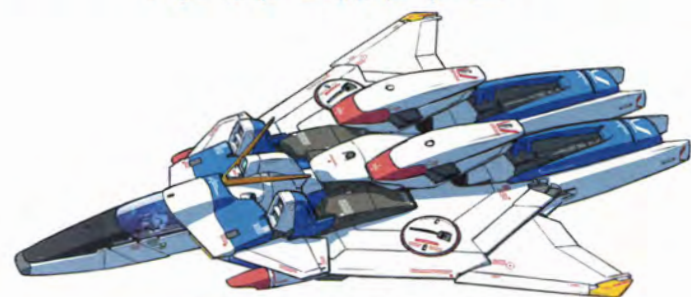
0164270



LM312V04+SD-VB03A

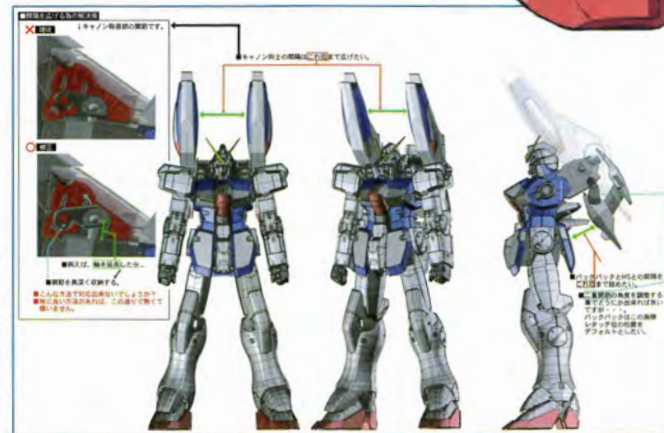
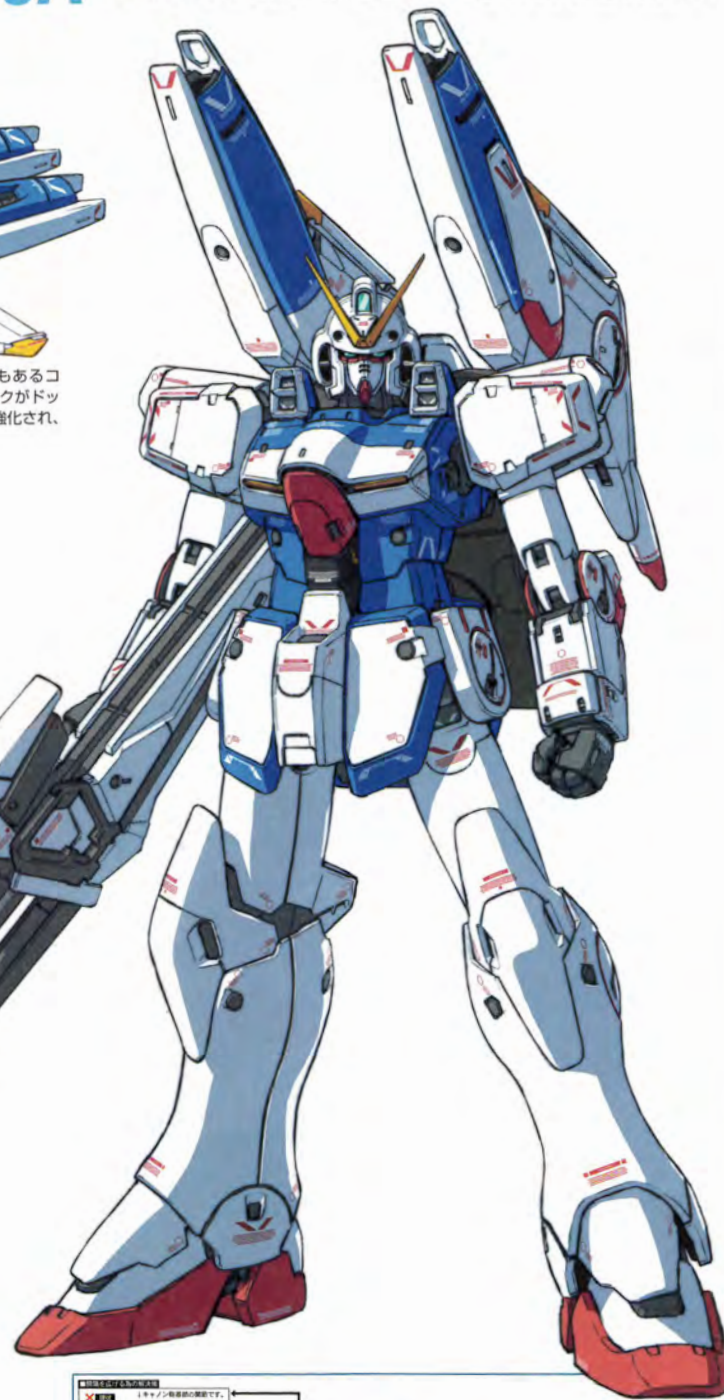
Vダッシュガンダム

レジスタンス組織「リガ・ミリティア」が、自軍の象徴として開発したモビルスーツであるVガンダムの背中にオーバーハング・バックを装着した形態。2門のオーバーハング・キャンノンによって火力が大幅に強化され、支援用MSとしても運用可能となる。



コア・ブースター

Vガンダムのコックピットユニットでもあるコア・ファイターとオーバーハング・バックがドッキングした形態。火力と推力が大幅に強化され、戦闘機としての性能も向上する。



このようなCADデータや画稿を介してカットキジメと開発スタッフとの間で綿密なやり取りが交わされ、商品の形状は決定されていく。ここではオーバーハング・バックと本体がより密着するよう、ドッキング機構が検討されている。

LM312V06 ヴィクトリー ガンダム ヘキサ

→頭部アンテナを換装し、通信・索敵機能を強化したタイプ。基本的に頭部以外はVガンダムと共通。



「ヴィクトリータイプ」のバージョンアップ

カトキハジメインタビュー

富野由悠季監督による久々のTVシリーズとなった「機動戦士Vガンダム」(1993年放映)。宇宙世紀を舞台にしながらもキャラクターも情勢も一新され、主役機Vガンダムもまた新しいスタイルに挑んだデザインとなった。そのVガンダムのバージョンアップとして登場したのがVダッシュガンダムであった。

1993年、「宇宙世紀の新たな第一歩」として踏みだすことになった「機動戦士Vガンダム」。主人公機となるVガンダムのデザインでは、RX-78-2ガンダムのコア・ブロック・システムを継承しつつ、新しい試みが盛り込まれていた。そのひとつがオーバーハング・バックだ。「ファーストガンダム」で活躍したコア・ブースターとしての機能を受け継ぎつつ、Vガンダム本体への合体という新たな要素もプラスされている。

「1990年代のロボット・アニメでは、物語中盤から主役1号ロボを2号ロボに交代させるのが主流になっていました。加えて2号ロボが登場するまでの間、物語や商品展開に訴求力を維持させる目的で、1号ロボのパワーアップも半ば織り込み済みなところもありました。Vガンダムのデザイン作業に入る際も、うっすらとですがVガンダムのアップデート的なメカのプランは見えていたと記憶しています」

制作初期からオーバーハング・バックの構想は存在し、それを基本形にして富野監督をはじめとするスタッフとミーティングを繰り返し、現在のデザインへと昇華させていくことになる。またVガンダムは設定上、汎用性を求められたMSでもあり、それはデザイン面にも各所に表われている。

「Vガンダムは当初、多種多様な武装オプションを活かそうという発想があって、肘やふくらはぎ、サイドスカートに汎用のハードポイントを設けてあるのもそのためでした。」

Aパーツに当たるトップ・リムは、ビーム・ライフルを保持したまま変形できるのが特徴で、それがトップファイターでもそのまま武器として使用できます。が、Bパーツにあたるボトム・リムには固定武装はなく、ボトム・ファイター形態ではコア・ファイターのヘッド・バルカンしかない状態です。ふくらはぎと腰サイドの計4箇所にハードポイントを設けているのも、その配慮によるものです。前回のVガンダムでは装着ギミックをオミットせざるを得なかったのですが、今回のVダッシュガンダムでは、ハードポイントへのウェポン装着が可能になっています。基本兵装のビーム・ライフルもハードポイントに装着できるようバージョンアップされています」

今回付属するオプション兵装は、過去のMS用兵器とのつながりを感じさせるバリエーションとなっている。初期段階からすでにデザインされていた武装もあるが、現場の要請ごとに追加されたデザインもある。

「初期にデザインした武装のひとつがガトリングガンです。本編では敵側のシャクコーが使用し、Vガンダムが装備することはありませんでしたが、思い出深いですね。腰のビーム・カノンは、劇中ではヘキサが装備していましたが、これもVガンダム用に初期に発注された武器のひとつです。オーバーハング・バックも含めて、追加パーツもVガンダムがもつサウンド系のトーンを踏襲していきたいという気持ちがありました。Vガンダムは汎用MSですから、追加兵装も開発段階から計画されて

いたと考えられます。それをルックスからも判断できるように、本体とフィットするデザインを心がけました。ほかにもエンディングでのみ登場している、ディスパーザブル・バスも今回2本付属しています。富野監督にはネーミングが不評で(笑)、没になったとばかり思っていたのですが、エンディングの絵コンテを見てみると、監督の指示でVガンダムにバズーカが装着されていたので、監督が気を遣ってくださったのかも知れませぬ」

エンディングでフィットカバーの青いVガンダムヘキサが登場しているが、今回はそれが再現できるパーツも付属されている。武装だけでなく、そういった細かなバージョン違いも再現できるのがVer.Kaの醍醐味といえる。

「MG Vダッシュガンダム Ver.Kaでは、アニメ設定では描き手への負担から再現されていなかった、細かなディテールにも挑戦しています。本体とオーバーハング・バックがドッキングする接合部も、キットでは新たな解釈として、バックパックのノズルを塞ぐことのないデザインにしています。アニメーションからプラモデルへフィールドを移すことにより、作画上の制約を受けることなく新たに取り組むことができたのは、手がけたデザイナーとしては幸せなことだと思います。Vガンダムは、オーバーハング・バックと一連の武装が補完されてはじめて、ひとつの完成形と言えるかも知れません。皆さんもキットでVガンダムをドッキングさせて、その姿を堪能してみてください」

『機動戦士Vガンダム』の世界

宇宙世紀0153年、地球を汚染してしまった人類が宇宙へ移民し、十分になじむようになっていた時代。地球連邦政府は形骸化し、サイド2で興ったザンスカール帝国が、戦火を地球圏へ撒き散らしていた。地球のカサレリアに住む少年ウッソは、シャクティを救うため、反抗組織リガ・ミリティアの最新鋭MS「Vガンダム」に乗り、ザンスカール帝国と戦うことになってしまう。



ウッソ・エヴィン

↑地球で平和に暮らしていた13歳の少年。幼いころ両親にMS操縦の教育を受け、それがザンスカール帝国との戦闘で開花。「スペシャル」と呼ばれるようになる



↑オーバーハング・バックはヘキサタイプにも装着可能で、シュラク隊ほか、マーベットも使用していた



↑劇中ではVガンダムヘキサがビーム・カノンを装備していた。ちなみに後期エンディングではV2ガンダムが手に携帯して登場



↑ビーム・スマートガンと八つ手ビーム・サーベルを回収するVガンダム。八つ手ビーム・サーベルは石垣純哉氏によるデザイン



↑エンディングで登場する、ディスパーザブル・バス。制作初期にデザインされたひとつで、キットでは2本付属している



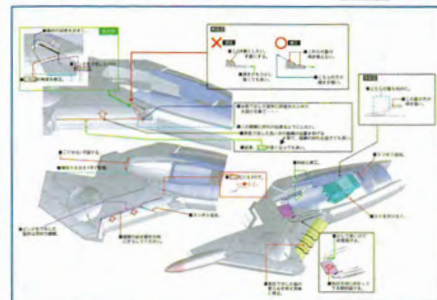
↑マーベット機に装着していたミサイルポッドをウッソのV2ガンダムが発射。ミサイルポッドも石垣純哉氏によるデザイン

LM312V04+SD-VB03A V-DASH GUNDAM Ver.Ka

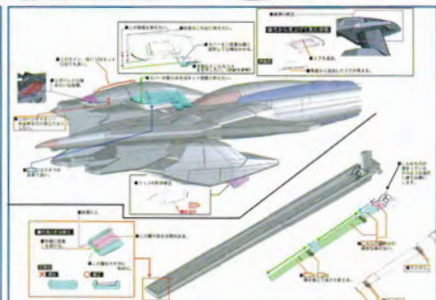


↑ヒジの赤い部位から展開するビーム・シールドはクリアパーツで再現される。

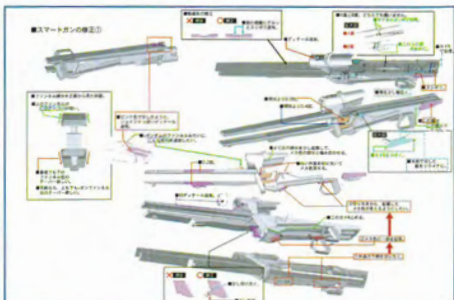
↑ビーム・カノンは腰アーマー側面に装着でき、設定通り砲身がスライドしてグリップが展開する。



↑大振りなパーツの形状が単調にならないように、各部の段差や各コーナーの曲率にも細かい指示が出されている。



↑CADによってデータ上でさまざまな角度から形状が検証できるようになり、立体形状についてさらに煮詰められるようになった。



↑ビーム・スマートガンの形状を検討。砲身パーツのテーパのニュアンスについて断面図で説明されている。

コア・ブースター

↑コア・ファイターとオーバーハング・バックがドッキングした戦闘機。模型では機体の厚みが抑えられ、航空機らしいシルエットが形成されている。



コア・ファイター

↑Vガンダムのコックピットブロックが変形した戦闘機。キャノピーは透明パーツで再現され、中にはパイロットフィギュアも確認できる。



↑装甲の隙間から露出した部位はメカ色が望ましいという要望が書き込まれている。パーツ分割などにこうした提案が反映されている。



↓トップ・リムとボトム・リムに分離した本体は、それぞれデプロイメントモード(搭載形態)にも変形できる。

トップ・ファイター



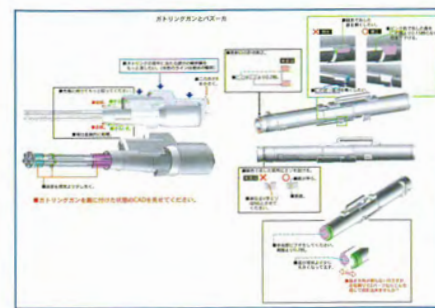
↑上半身を構成するトップ・リムとコア・ファイターがドッキングした形態。戦闘機でありながら、ビーム・ライフル、ビーム・シールドといったモビルスーツ時の武装を使用できる。

ボトム・ファイター

↑下半身を構成するボトム・リムとコア・ファイターがドッキングした形態。腰のハードポイントが底面にくるので、機体下面に武装を懸架できる。



↑付属する武器類を機体各部のハードポイントに取り付けた例。Vガンダムのシンボルなフォルムから一転、重武装で力強さを感じさせる装いに、この他にも様々な組み合わせが楽しめる。



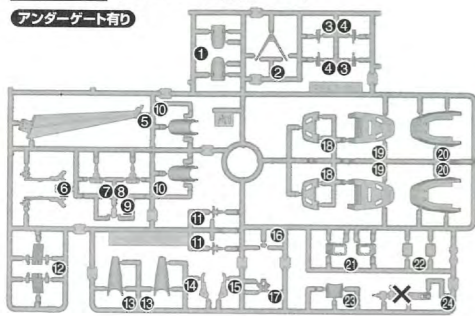
↑付属する武装一覧。4連ミサイルやジャベリン状態のサーベルも付属。またビーム・ライフルはEバックパーツの差し替えて機体各所にマウント可能となる。

↑ガトリングガンとディスパーザブル・バズの面構。劇中ではほとんど活躍の機会がなかった武装まで付属する。

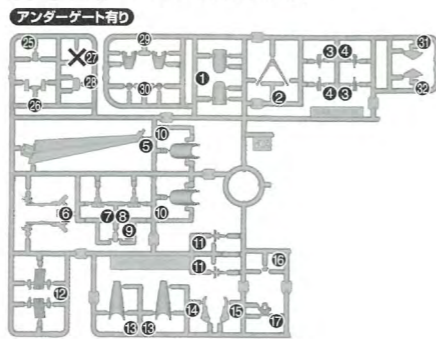
パーツリスト

(X印は使用しないパーツです。)

A1パーツ (スチロール樹脂: PS)

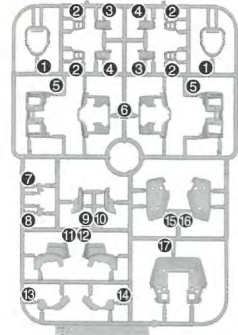


A2パーツ (スチロール樹脂: PS)



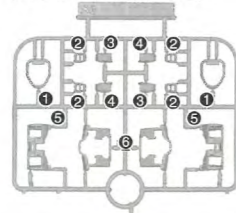
B1パーツ

(スチロール樹脂: PS)



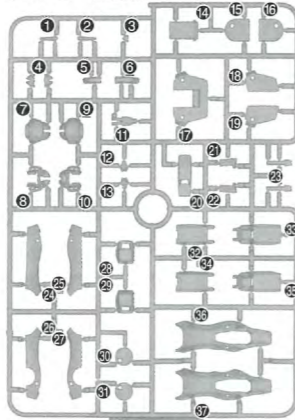
B2パーツ

(スチロール樹脂: PS)



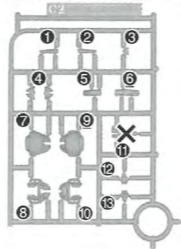
C1パーツ

(スチロール樹脂: PS)



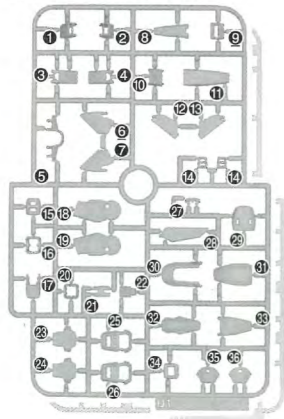
C2パーツ

(スチロール樹脂: PS)



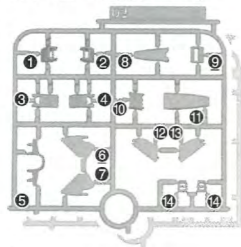
D1パーツ (x2)

(スチロール樹脂: PS)



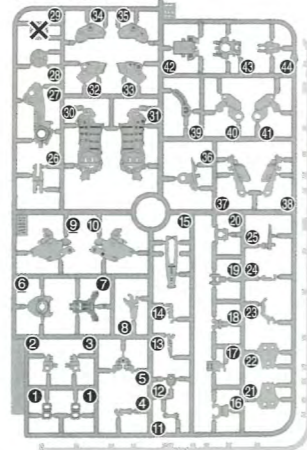
D2パーツ (x2)

(スチロール樹脂: PS)



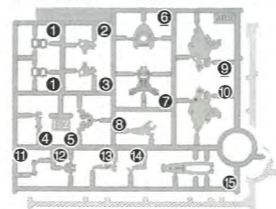
E1パーツ (x2)

(ABS樹脂: ABS)

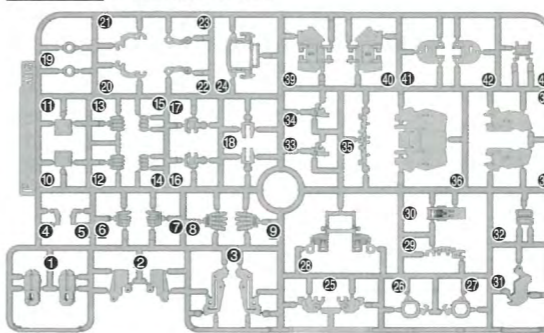


E2パーツ (x2)

(ABS樹脂: ABS)



Fパーツ (ABS樹脂: ABS)



Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



Hパーツ

(スチロール樹脂: PS)

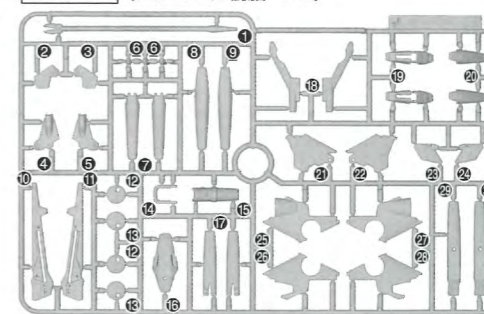


Iパーツ (x2)

(ポリエチレン: PE)

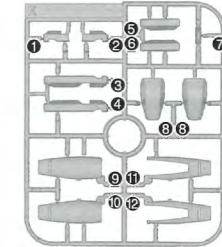


Jパーツ (スチロール樹脂: PS)



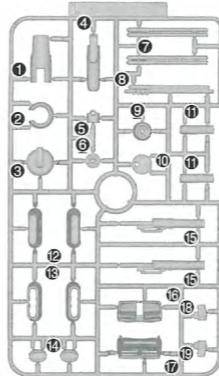
Kパーツ

(スチロール樹脂: PS)

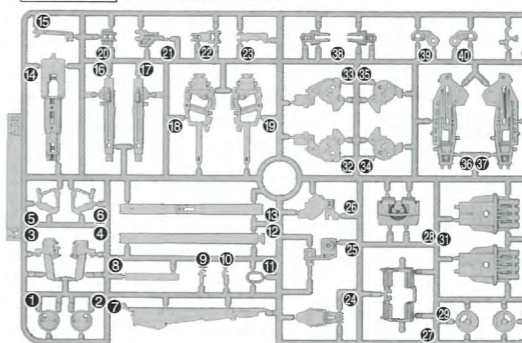


Lパーツ

(スチロール樹脂: PS)



Mパーツ (ABS樹脂: ABS)



ビーム・シールド

(PET樹脂: PET)



PC-7パーツ

(ポリエチレン: PE)

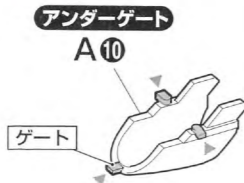


- カラーシール 2枚 (シール③3枚 予備)
- マーキングシール (Vガンダム用) 1枚
- マーキングシール (コア・ブースター用) 1枚
- ガンダムデカール (Vガンダム用) 1枚
- ガンダムデカール (コア・ブースター用) 1枚

アンダーゲートの切り方

▶ アンダーゲートマークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※説明書でアンダーゲートと表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。▶の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。



注意

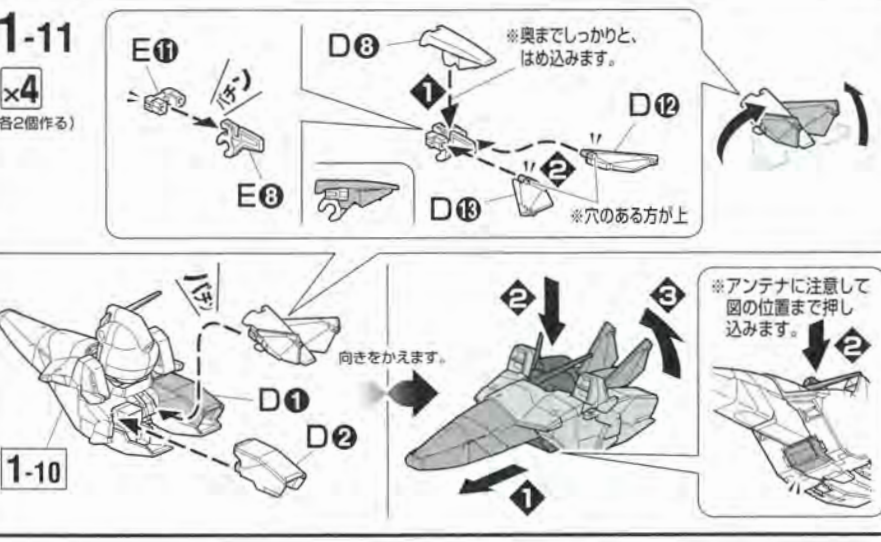
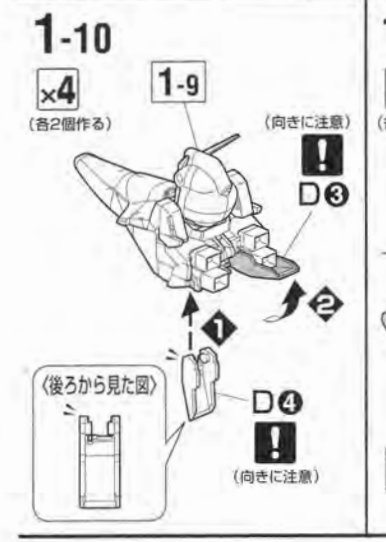
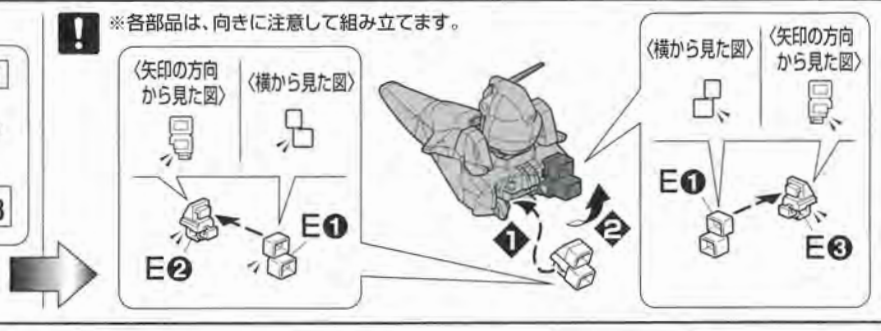
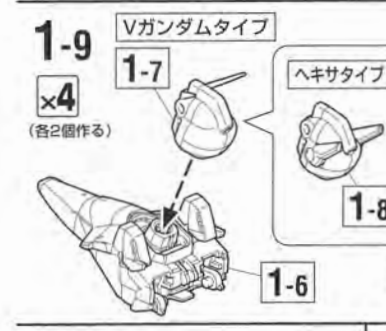
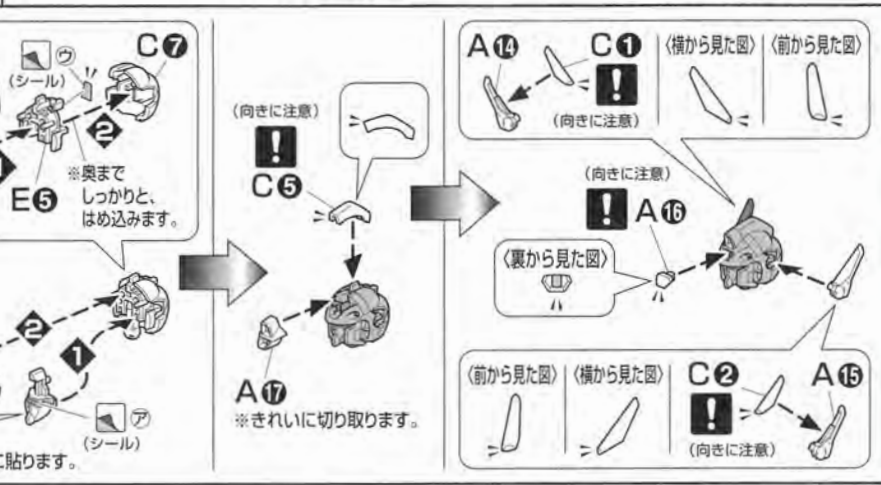
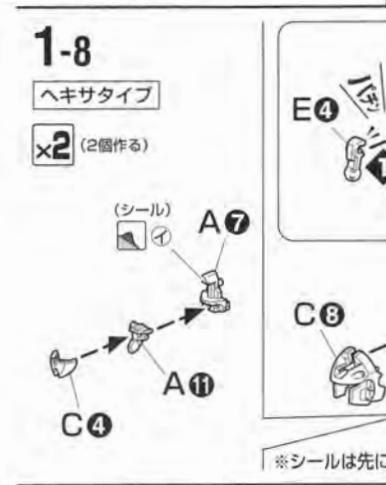
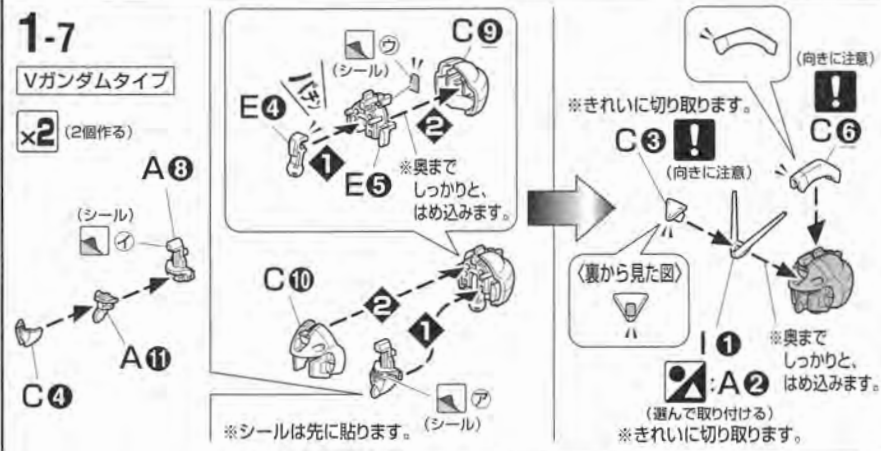
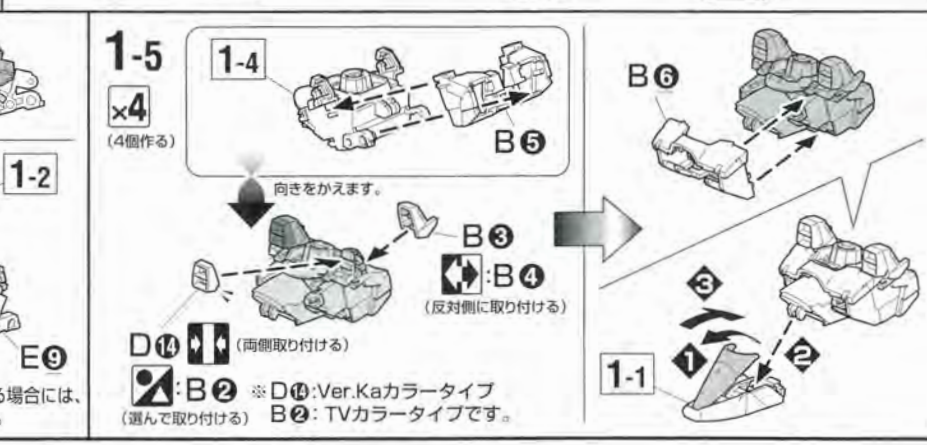
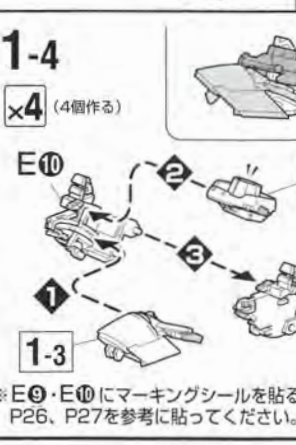
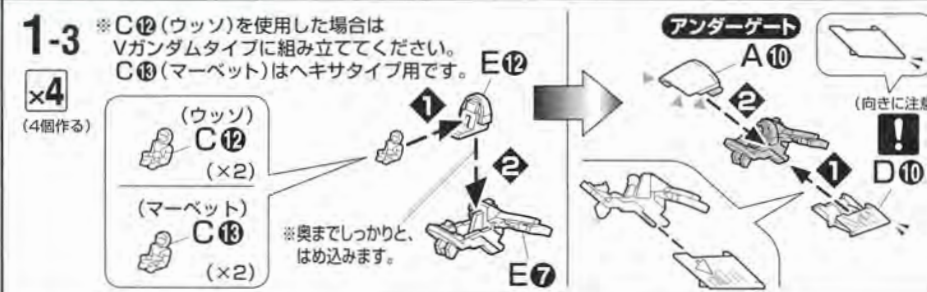
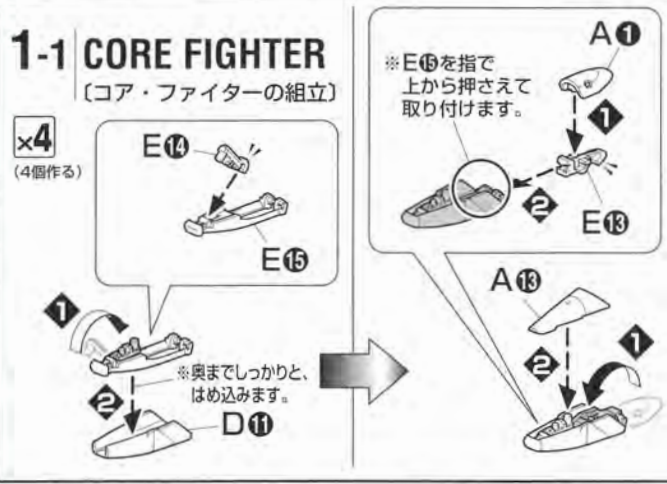
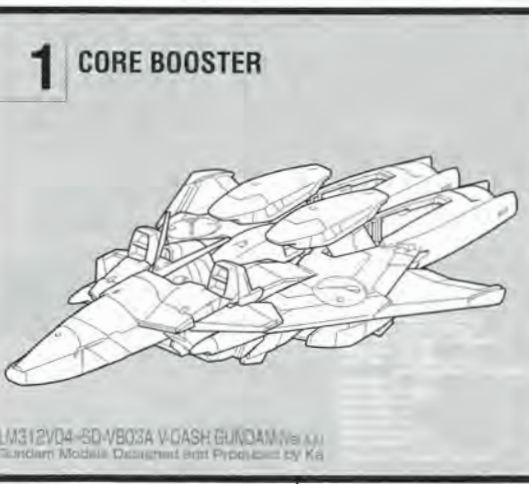
必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・切り取る場所	・シールの番号	・シール	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・向きを注意して取り付ける
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします



1-12
 ×4
 (4個作る)

(反対側に取り付ける)
 D6

1-13

※奥までしっかりと、はめ込みます。

《後ろから見た図》

※パンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用してディスプレイできます。

×4
 (4個作る)
 ※部品を折り曲げないようご注意ください。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

《横から見た図》
 ※ミゾに合わせてスライドさせます。

1-14 CORE BOOSTER
 (コア・ブースターの組立)
 ×2
 (2個作る)

※奥までしっかりと、はめ込みます。

1-15

※奥までしっかりと、はめ込みます。

《横から見た図》
 ※ミゾに合わせてスライドさせます。

1-16

※奥までしっかりと、はめ込みます。

1-17

※羽根をはさまないように取り付けてください。

《内側から見た図》

《上から見た図》

1-18

※きれいに切り取ります。

《裏から見た図》

1-19

※奥までしっかりと、はめ込みます。

《横から見た図》

1-19

※奥までしっかりと、はめ込みます。

1-20

※奥までしっかりと、はめ込みます。

《横から見た図》
 ※ミゾに合わせてスライドさせます。

1-21

※奥までしっかりと、はめ込みます。

《内側から見た図》

《上から見た図》

1-22

※奥までしっかりと、はめ込みます。

1-22

※きれいに切り取ります。

《横から見た図》

1-23

※奥までしっかりと、はめ込みます。

《横から見た図》

1-24

※シールは先に貼ります。

《横から見た図》

1-25

※奥までしっかりと、はめ込みます。

1-26

※奥までしっかりと、はめ込みます。

1-27

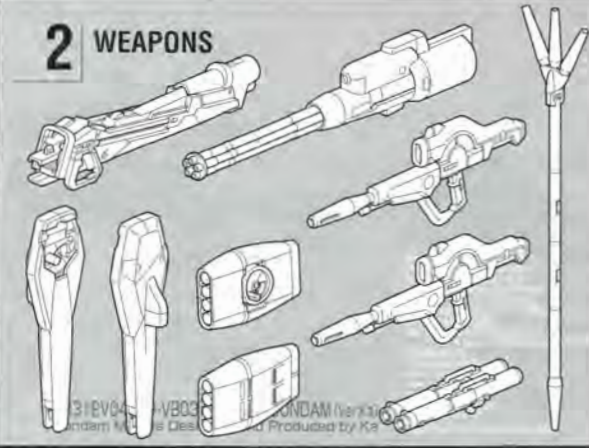
※ランディングギア (A6・A8) は外しておきます。

※ブースター部がイラストの位置になっているか確認してください。

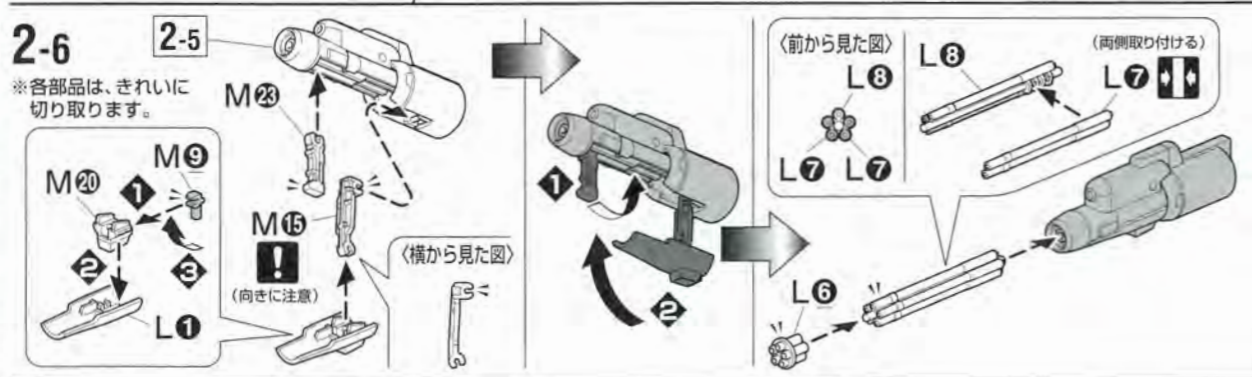
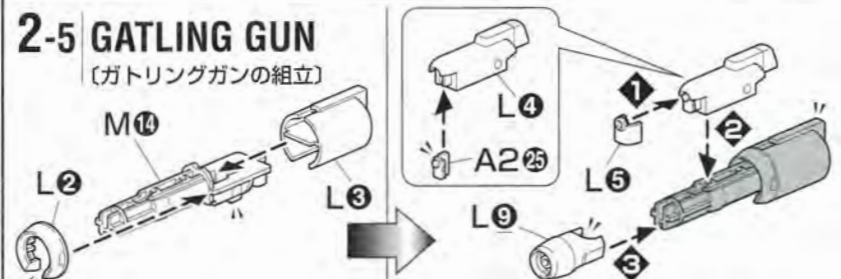
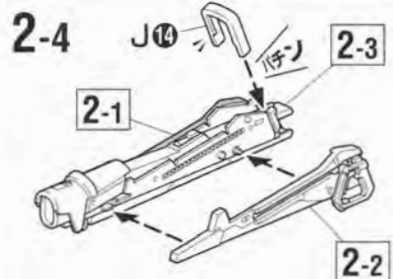
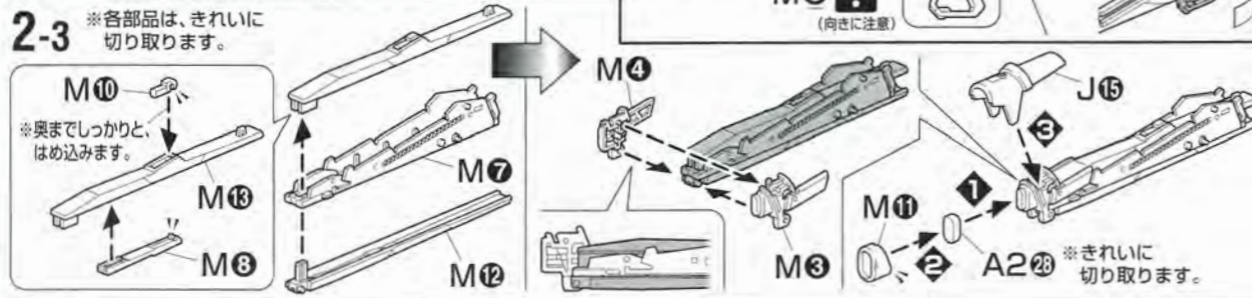
《裏から見た図》



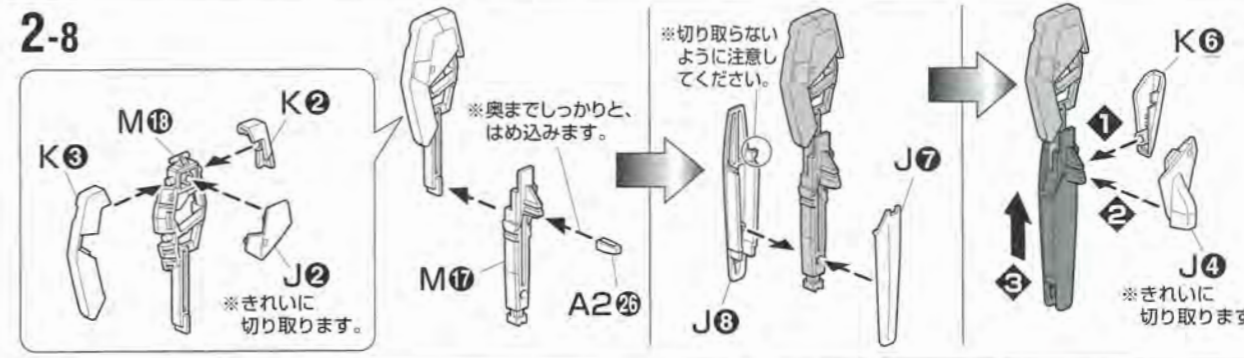
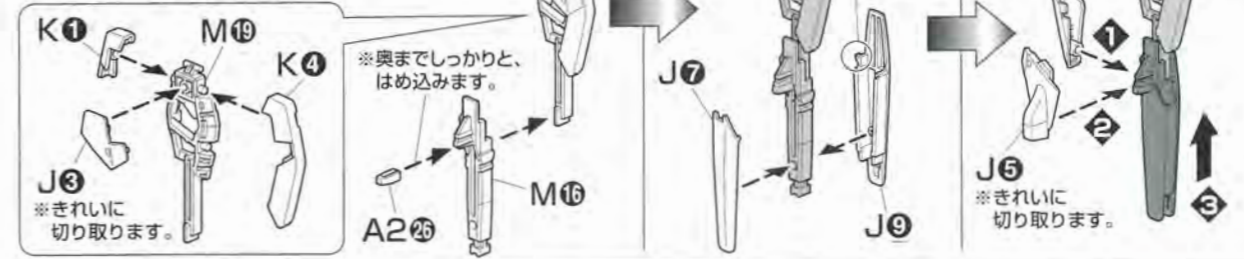
2 WEAPONS



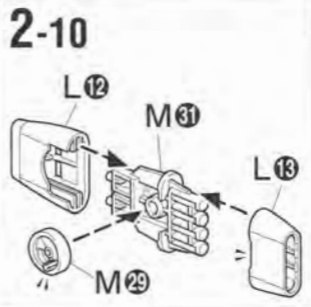
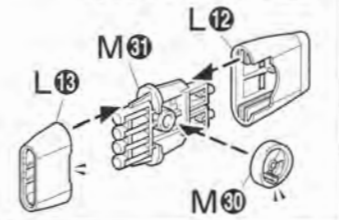
2-1 BEAM SMARTGUN [ビーム・スマートガンの組立]



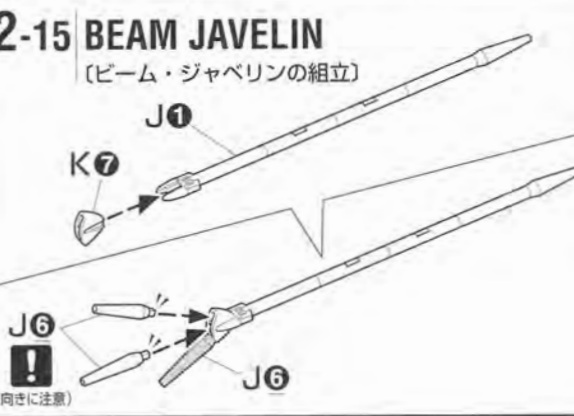
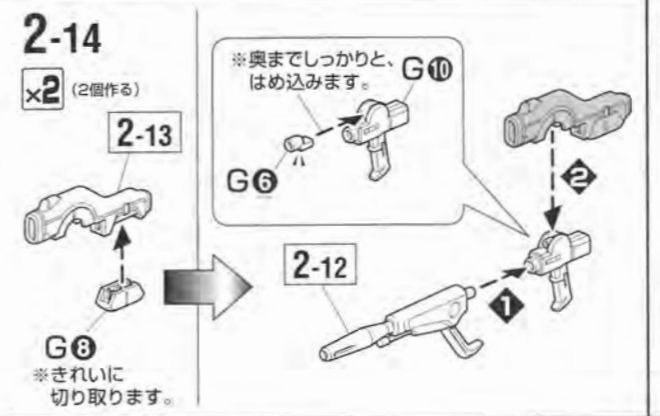
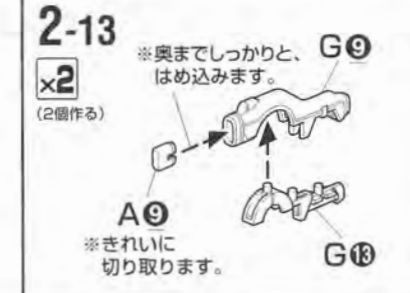
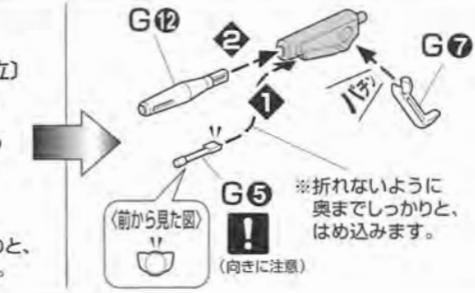
2-7 BEAM CANNON [ビーム・カノンの組立]



2-9 MISSILE POD [ミサイル・ポッドの組立]

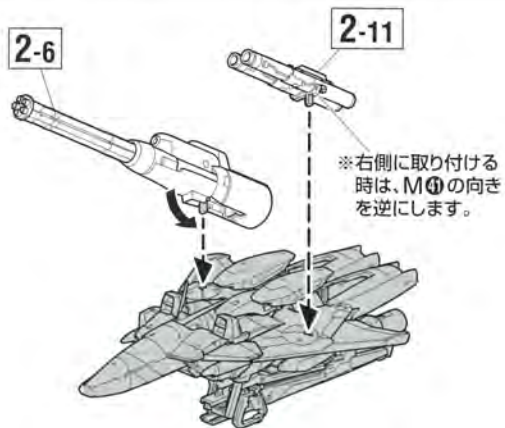
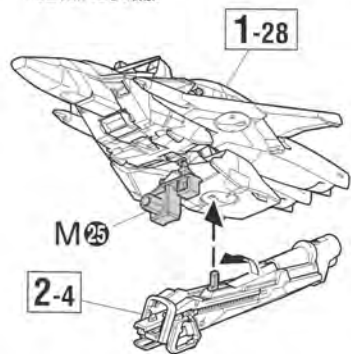


2-12 BEAM RIFLE [ビーム・ライフルの組立]



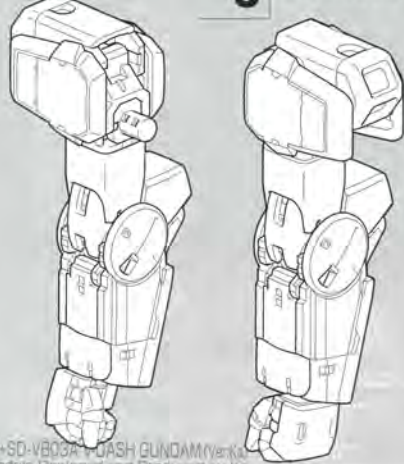
2-16 WEAPONS EQUIPMENT

(武器の装備)

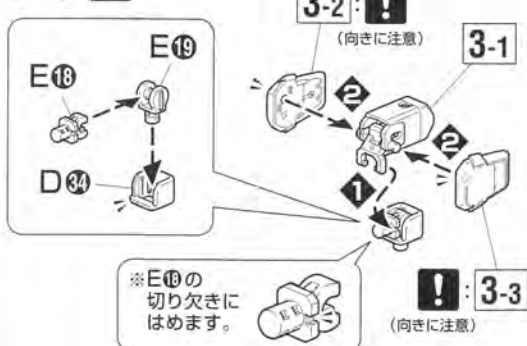


4 RIGHT ARM

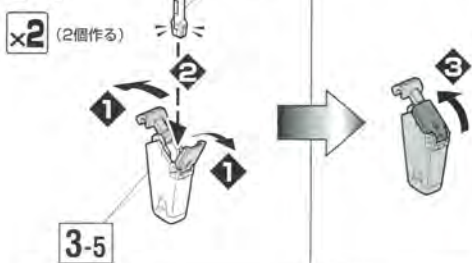
5 LEFT ARM



3-4 x2 (2個作る)

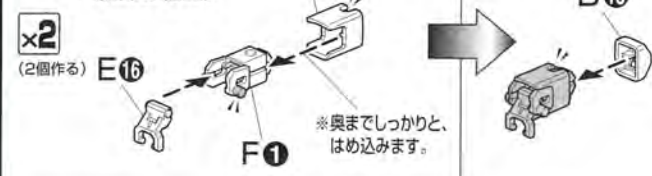


3-6 x2 (2個作る)

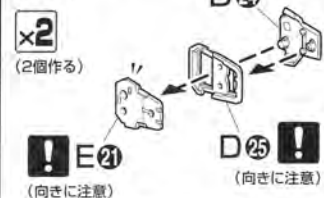


3-1 ARM

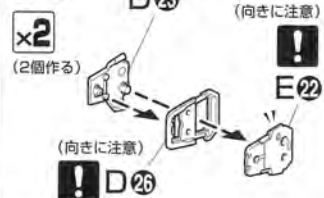
(腕部の組立)



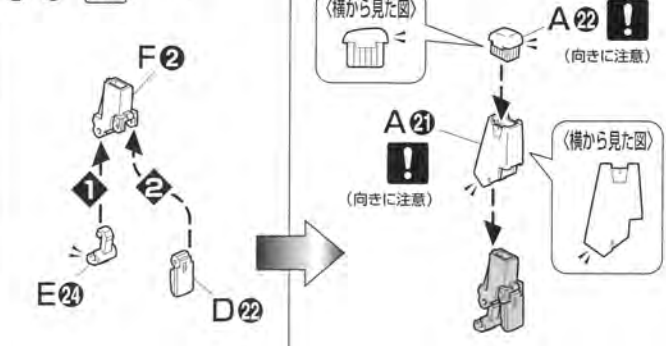
3-2 x2 (2個作る)



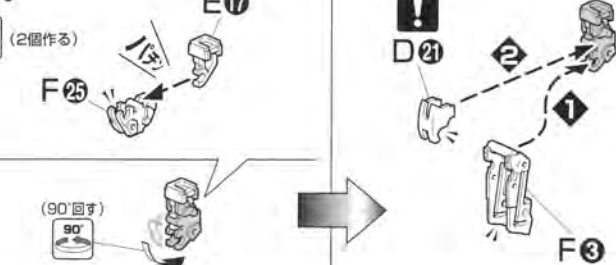
3-3 x2 (2個作る)



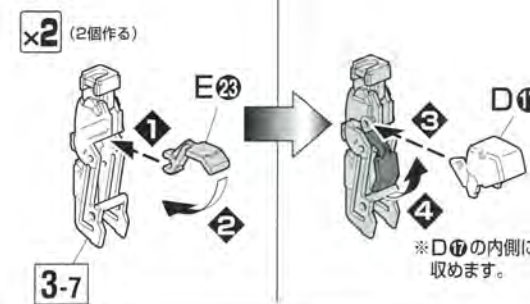
3-5 x2 (2個作る)



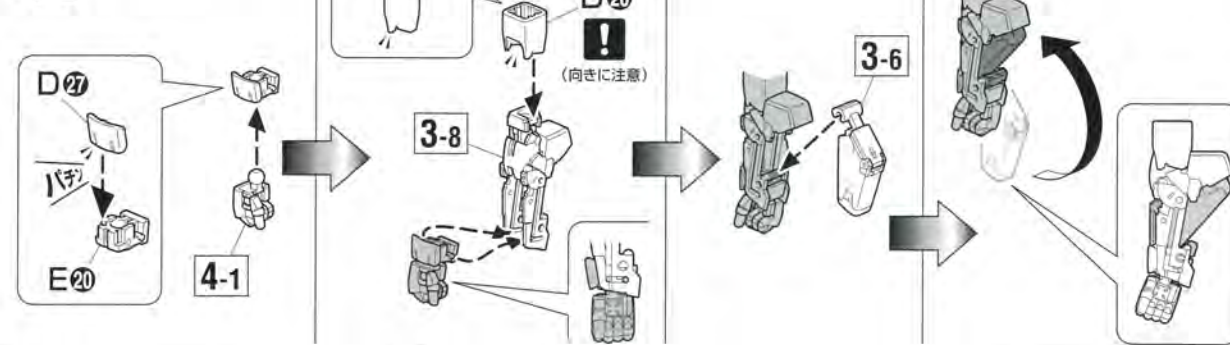
3-7 x2 (2個作る)



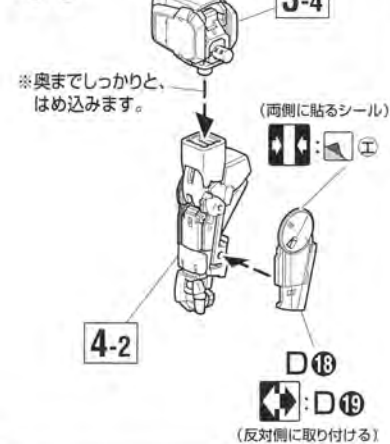
3-8 x2 (2個作る)



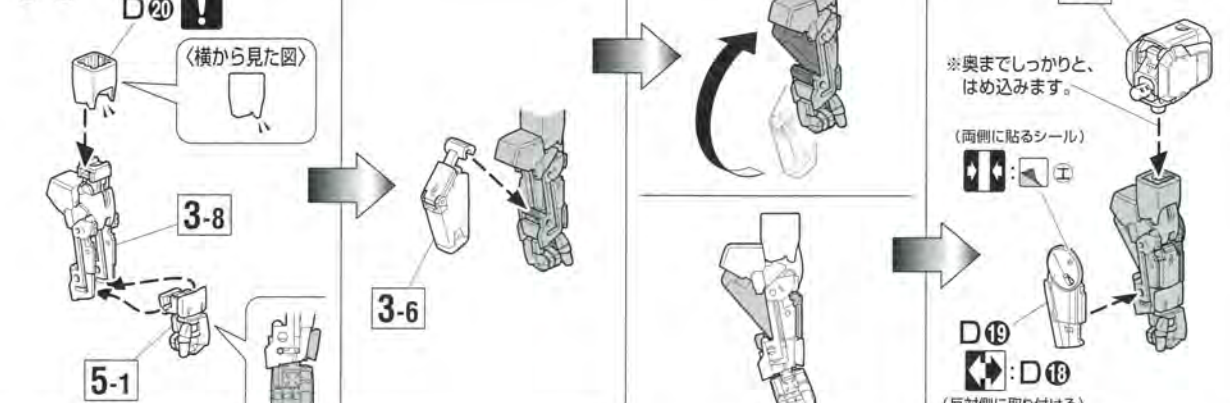
4-2



4-3

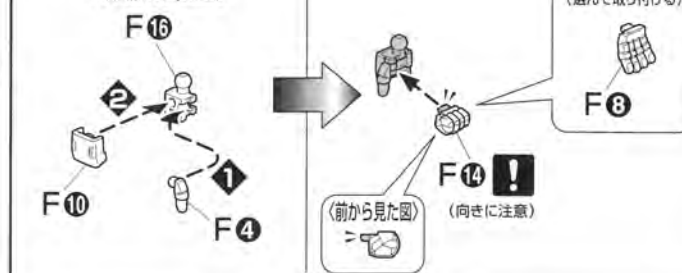


5-2



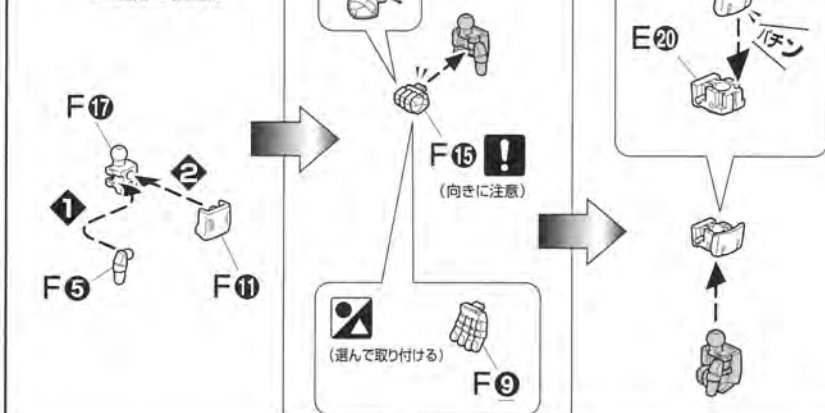
4-1 RIGHT ARM

(右腕の組立)



5-1 LEFT ARM

(左腕の組立)



PARTS LIST | WEAPONS | ARMS | TRANSFORMATION

6 TOP RIM

LM312V04-SD-VB03A V-DASH GUNDAM (Ver.Ka)
Gundam Models Designed and Produced by Ka

6-1 TOP RIM (トップ・リムの組立)

〈上から見た図〉
F22 (向きに注意) F24 (向きに注意) F23 (向きに注意)

B9 B10

6-2

(向きに注意) A23 F43

6-3

F38 ※きれいに切り取ります。
B16 C19

6-4

(向きに注意) ※きれいに切り取ります。 F36 F32
〈横から見た図〉 向きをかえます。
C14 B17

6-5

(向きに注意) F28 F20
外側 F21 (向きに注意)
〈外側〉 〈内側〉
B8 B7 (向きに注意) (反対側に取り付ける)
C17
〈横から見た図〉 向きをかえます。
C21 C22 B12 B11
前
C22 C21 B11 B12 (反対側に取り付ける) (反対側に取り付ける)

6-6

B14 F27
〈前から見た図〉
〈横から見た図〉
(向きに注意) F19
向きをかえます。
〈前から見た図〉 (向きに注意) B18 F19
〈横から見た図〉 F26

6-7

6-6 4 5

7 WAIST UNIT

LM312V04-SD-VB03A V-DASH GUNDAM (Ver.Ka)
Gundam Models Designed and Produced by Ka

7-1 WAIST UNIT (腰部の組立)

F29 パチ F31
〈上から見た図〉 F35 (向きに注意)
PC-7 F34

7-2

F40 PC-7 F34

7-3

F39 F33 PC-7 7-2 7-1
F30 C20 F30

9 RIGHT LEG 10 LEFT LEG

LM312V04-SD-VB03A V-DASH GUNDAM (Ver.Ka)
Gundam Models Designed and Produced by Ka

8-1 LEG (脚部の組立)

×2 (2個作る) E43
E38 E42 E37
A20
※きれいに切り取ります。 A19

8-2 ×2 (2個作る)

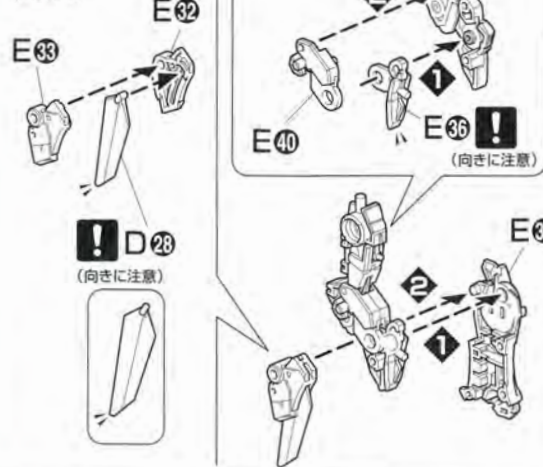
D30 D31 K8 (選んで取り付ける)
※D31 (白): Vガンダムタイプ
K8 (青): ヘキサタイプです。
E25 D29
A18 8-1

8-3 ×2 (2個作る)

E27 E26 E41 E34

8-4

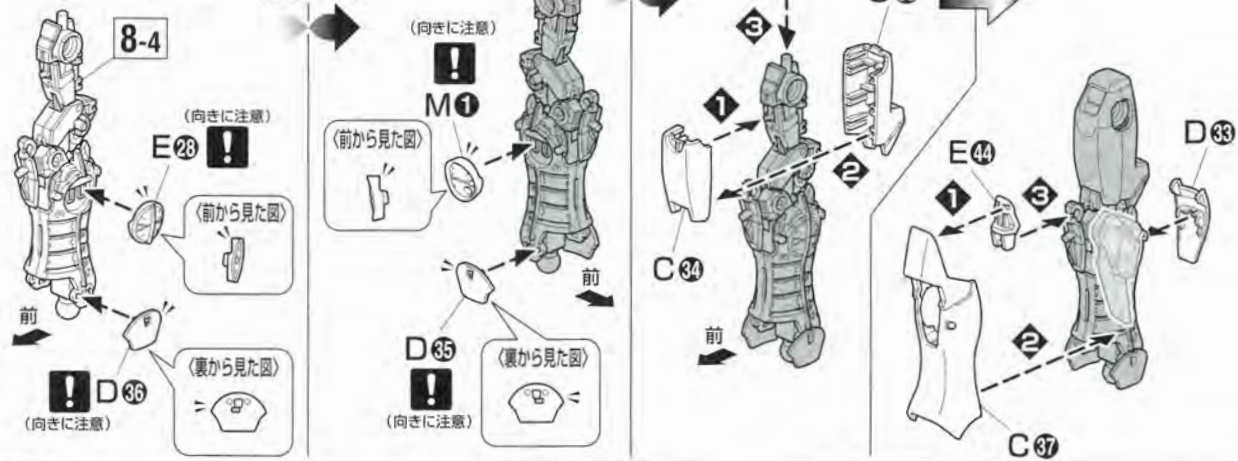
×2
(2個作る)



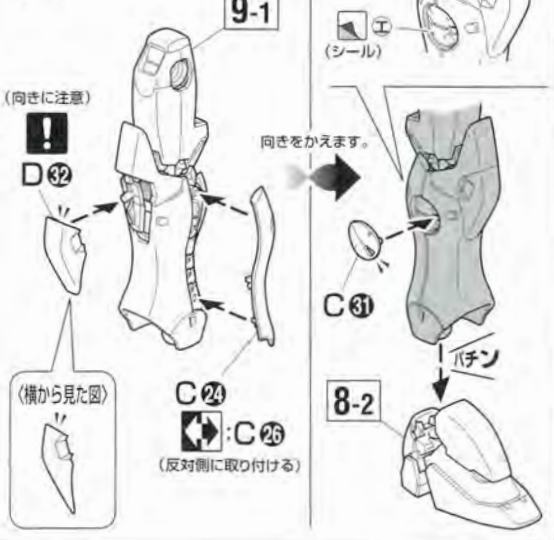
※はさまないように注意してください。

9-1 RIGHT LEG

(右脚の組立)

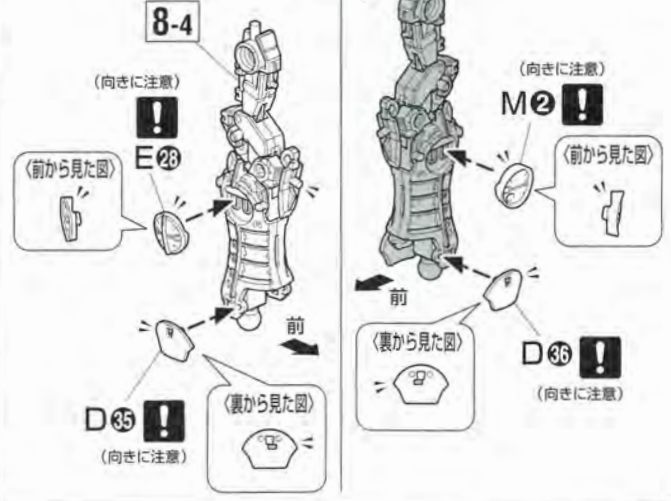


9-2

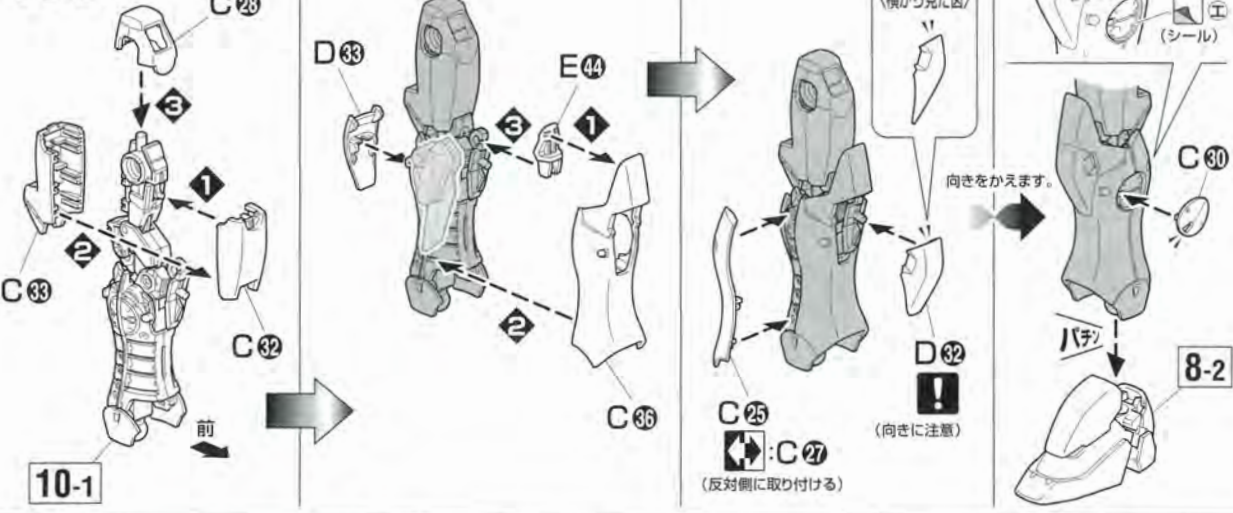


10-1 LEFT LEG

(左脚の組立)



10-2

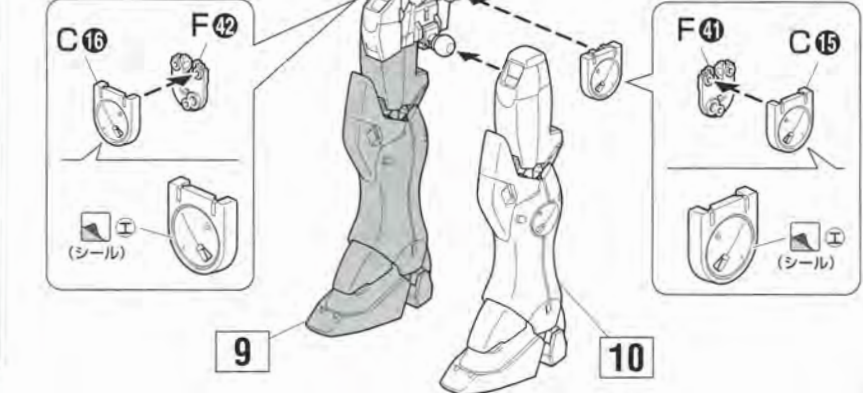


11 BOTTOM RIM



11 BOTTOM RIM

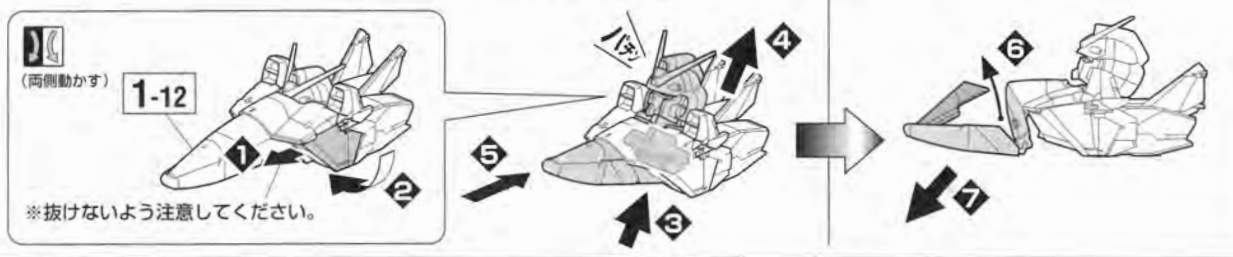
(ボトム・リムの組立)



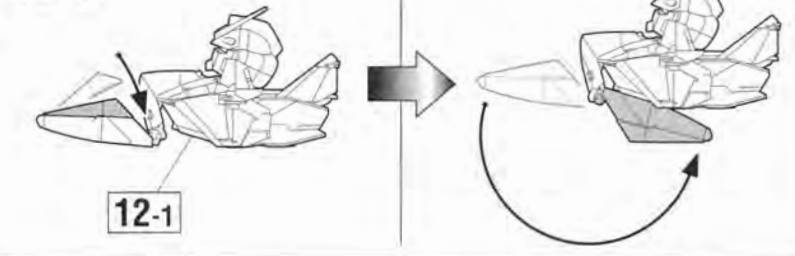
12-1 VICTORY GUNDAM

(ビクトリーガンダムへの合体)

※コア・ブースターはP10の1-12(コア・ファイター)と、P11の1-26(ブースター)に分けておきます。トップ・ファイターに変形させる場合はP23の16へ、ボトム・ファイターに変形させる場合はP24の17へ進んでください。



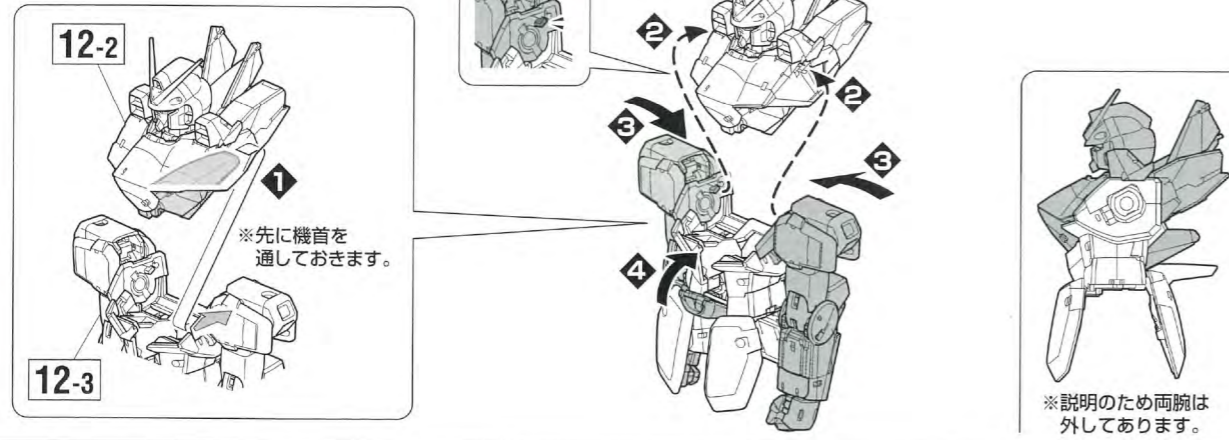
12-2



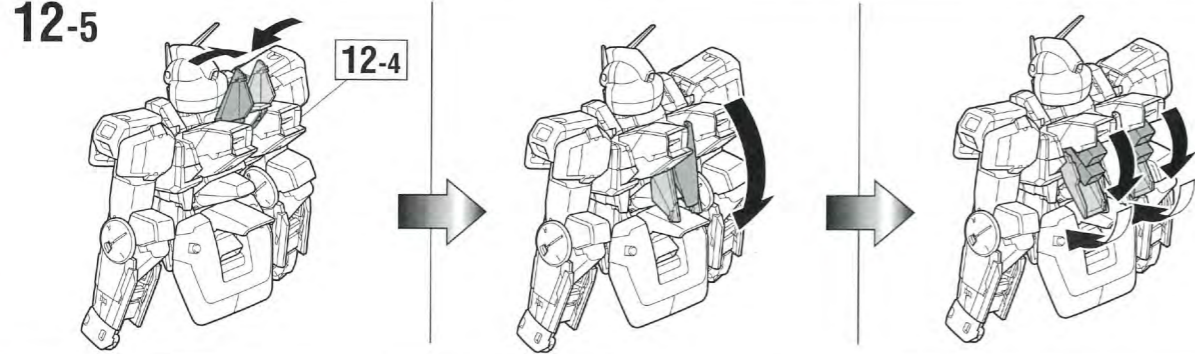
12-3



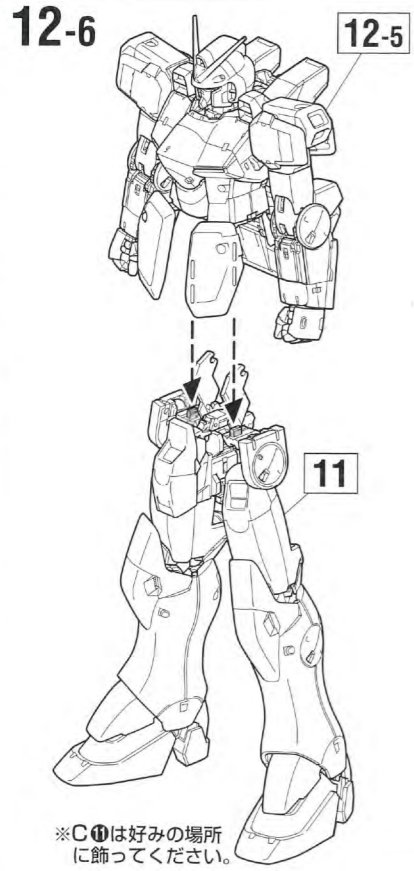
12-4



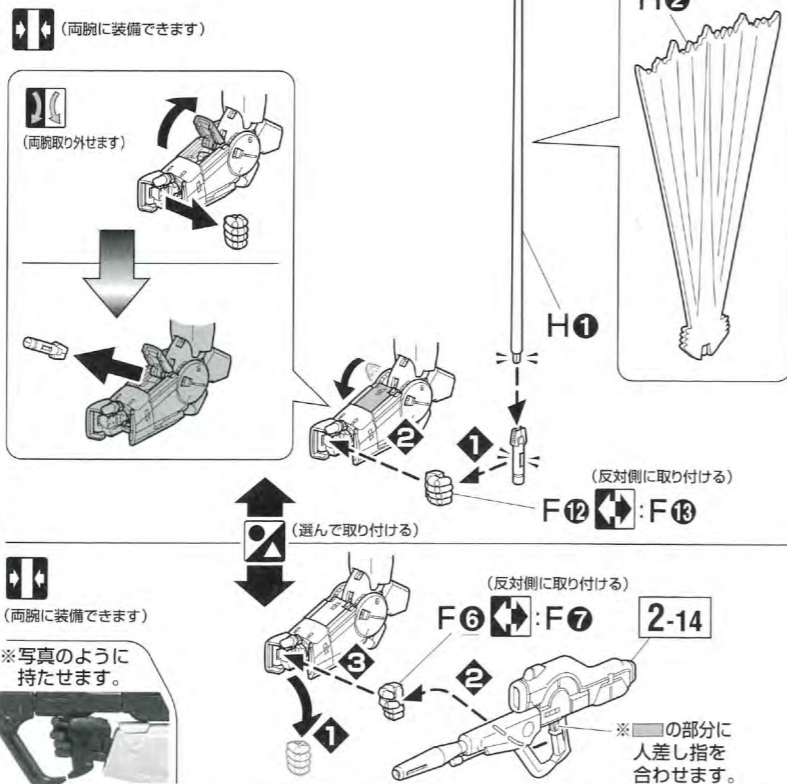
12-5



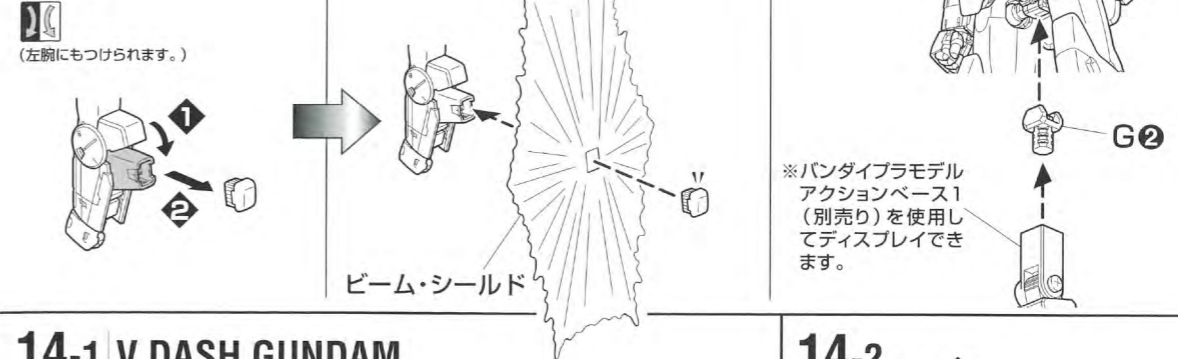
12-6



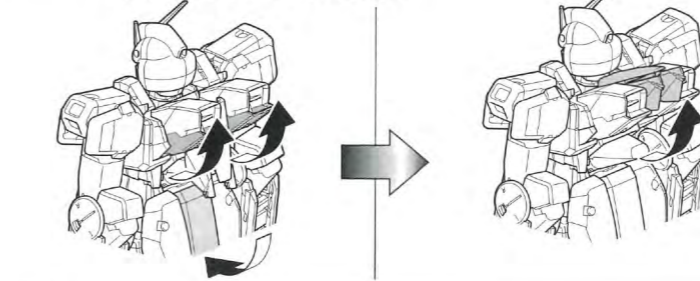
13-1 WEAPONS EQUIPMENT 〔武器の装備〕



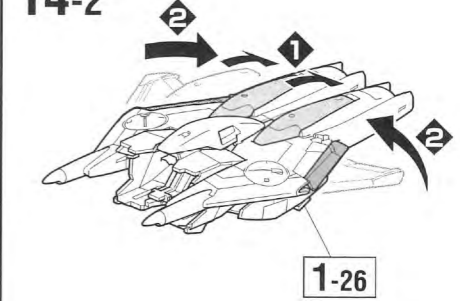
13-2



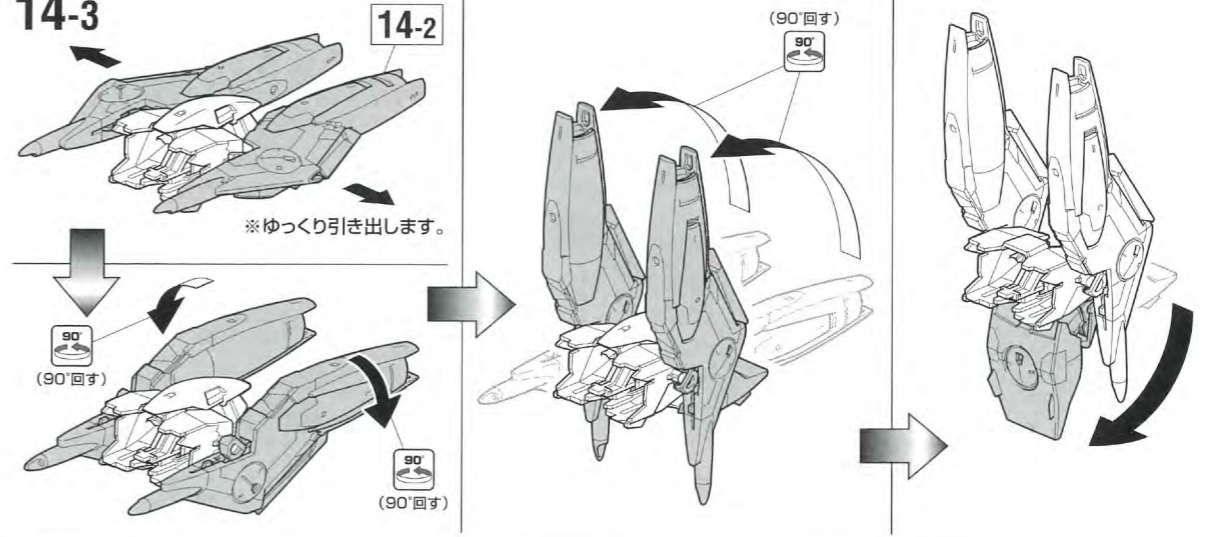
14-1 V DASH GUNDAM 〔Vダッシュガンダムへの合体〕



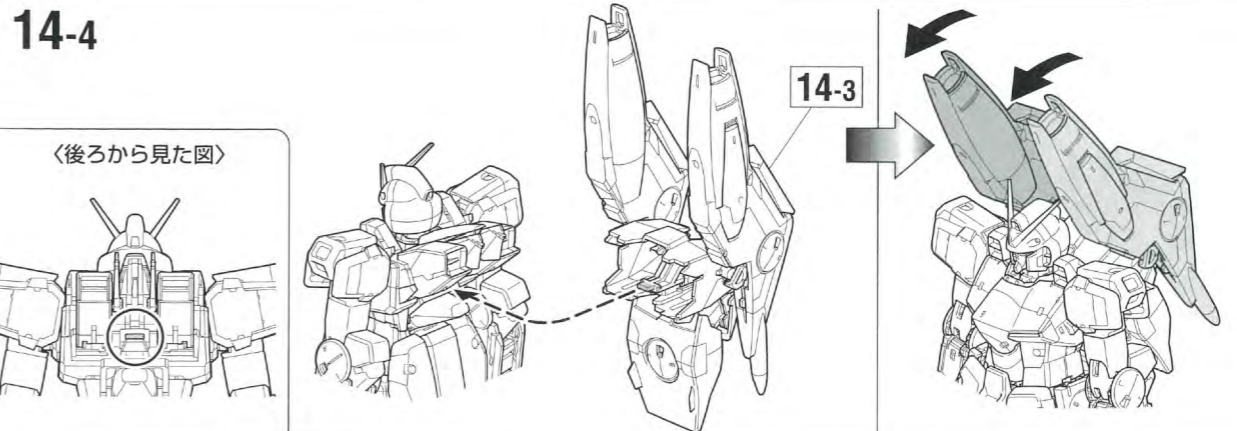
14-2



14-3

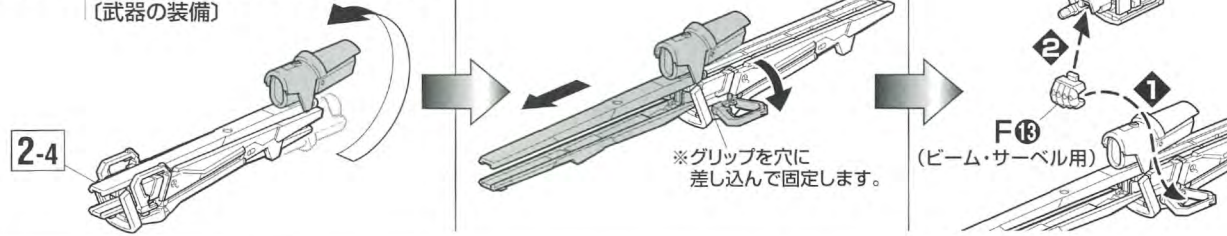


14-4

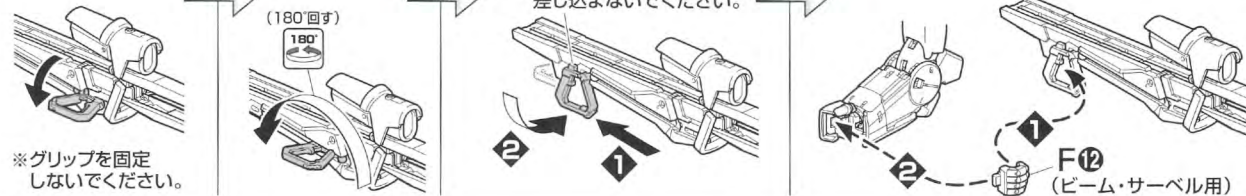


15-1 WEAPONS EQUIPMENT

(武器の装備)

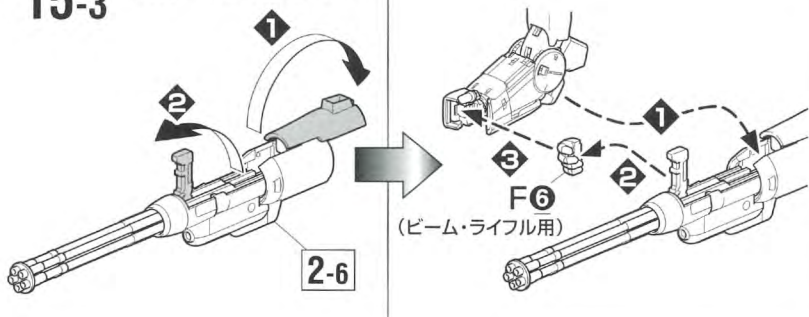


15-2

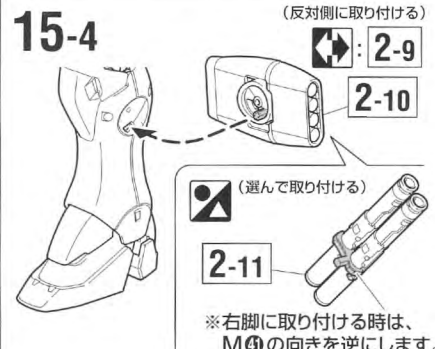


15-3

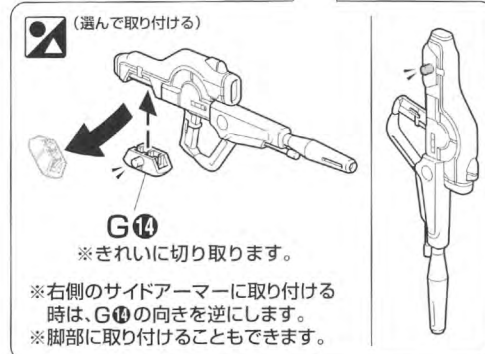
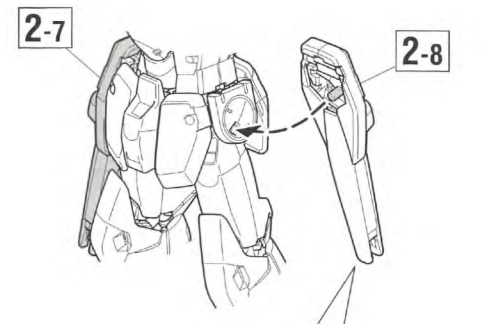
※左手にも持たせられます。



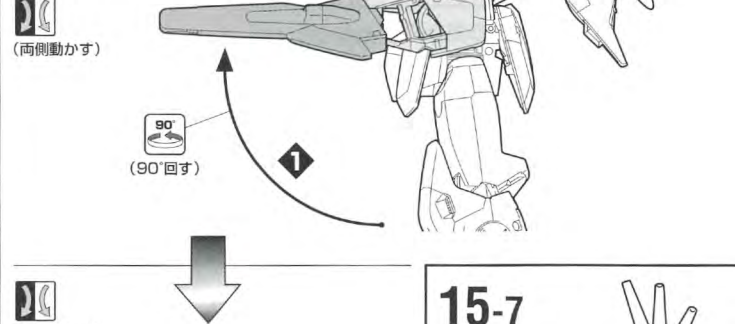
15-4



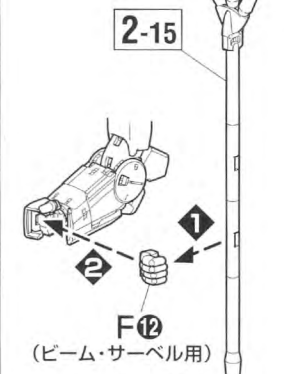
15-5



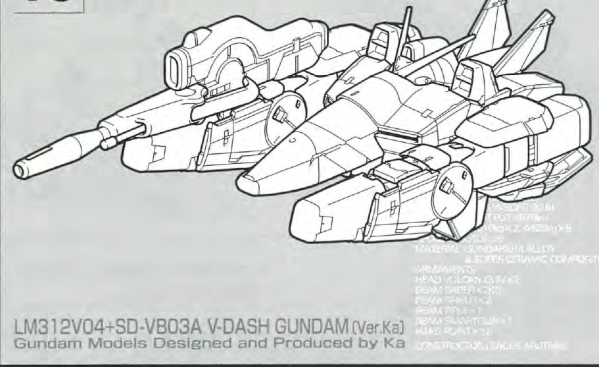
15-6



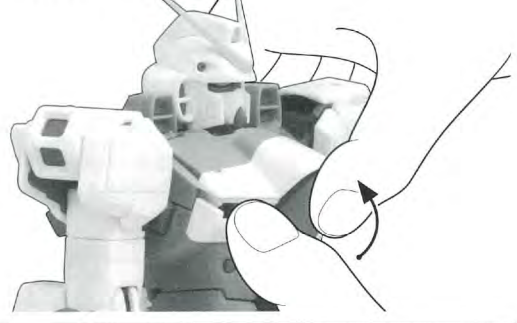
15-7



16 TOP FIGHTER

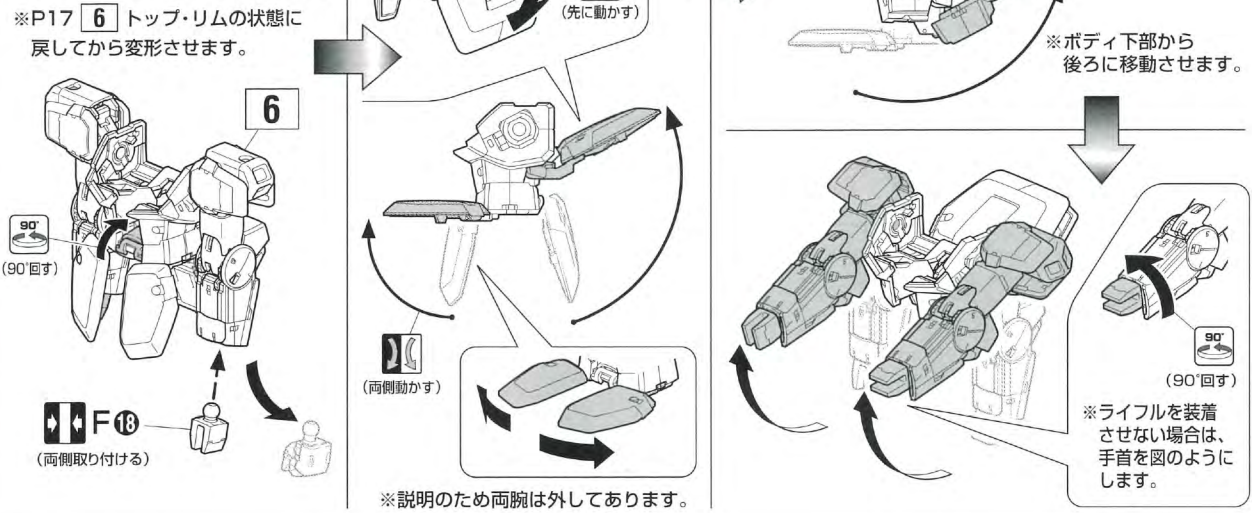


※P21 14-4から逆の手順でコア・ブースター、コア・ファイターを取り外します。P20 12-4の④を行う時は、写真のように少し浮かせながら取り外すとよいでしょう。

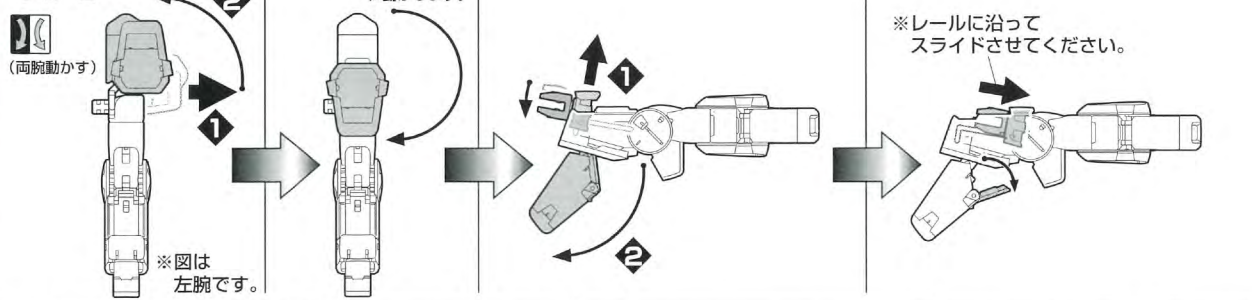


16-1 TOP FIGHTER

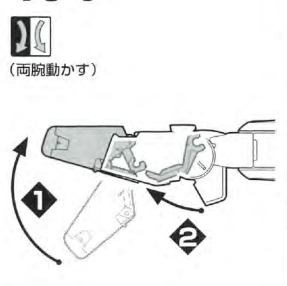
(トップ・ファイターへの変形)



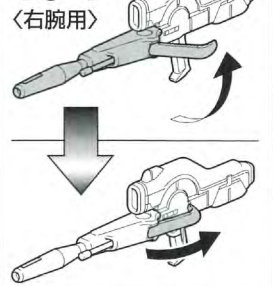
16-2



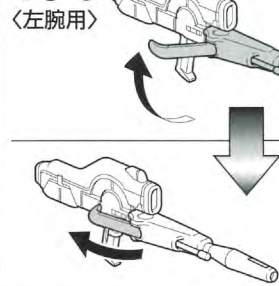
16-3



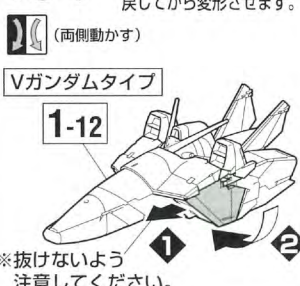
16-4



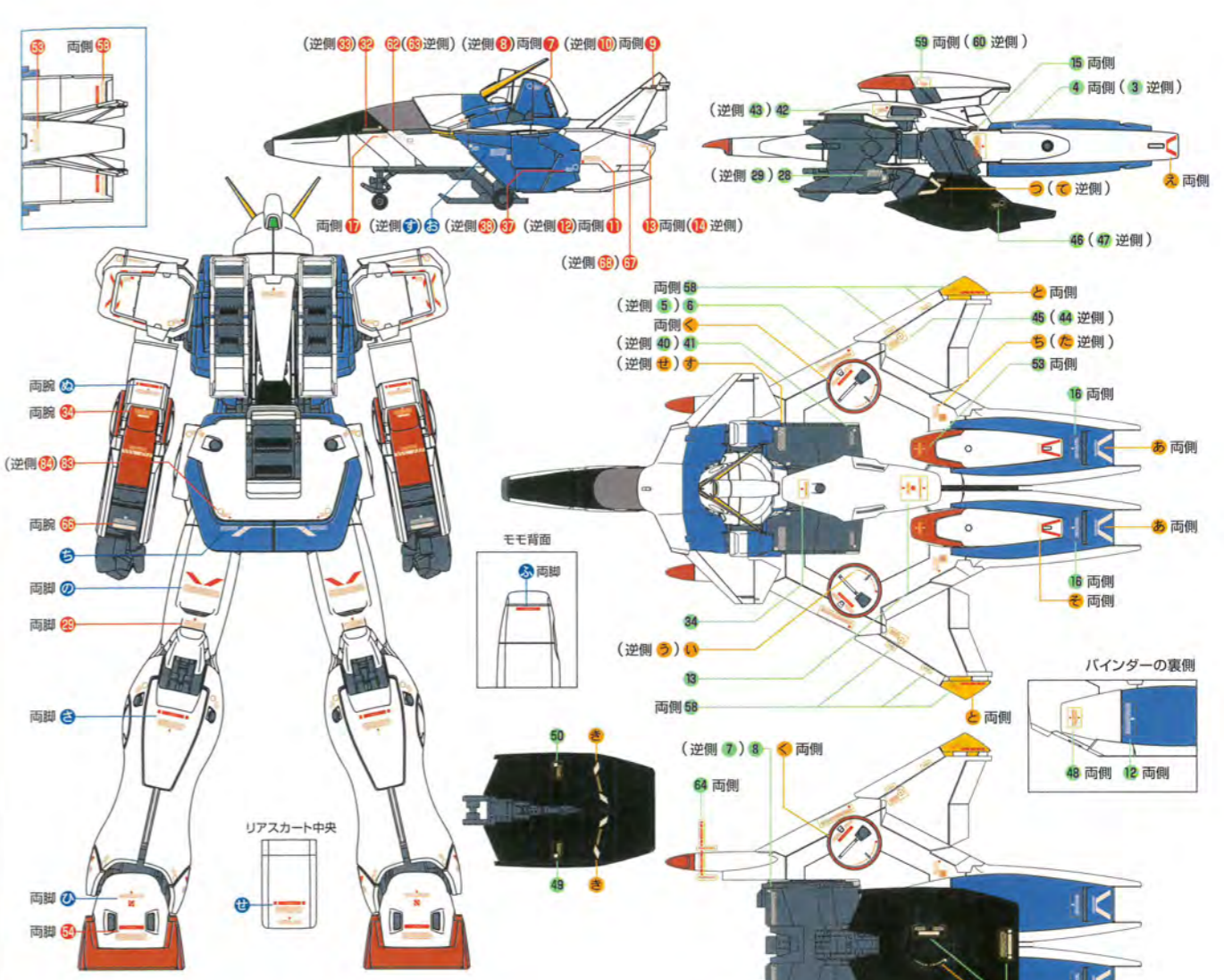
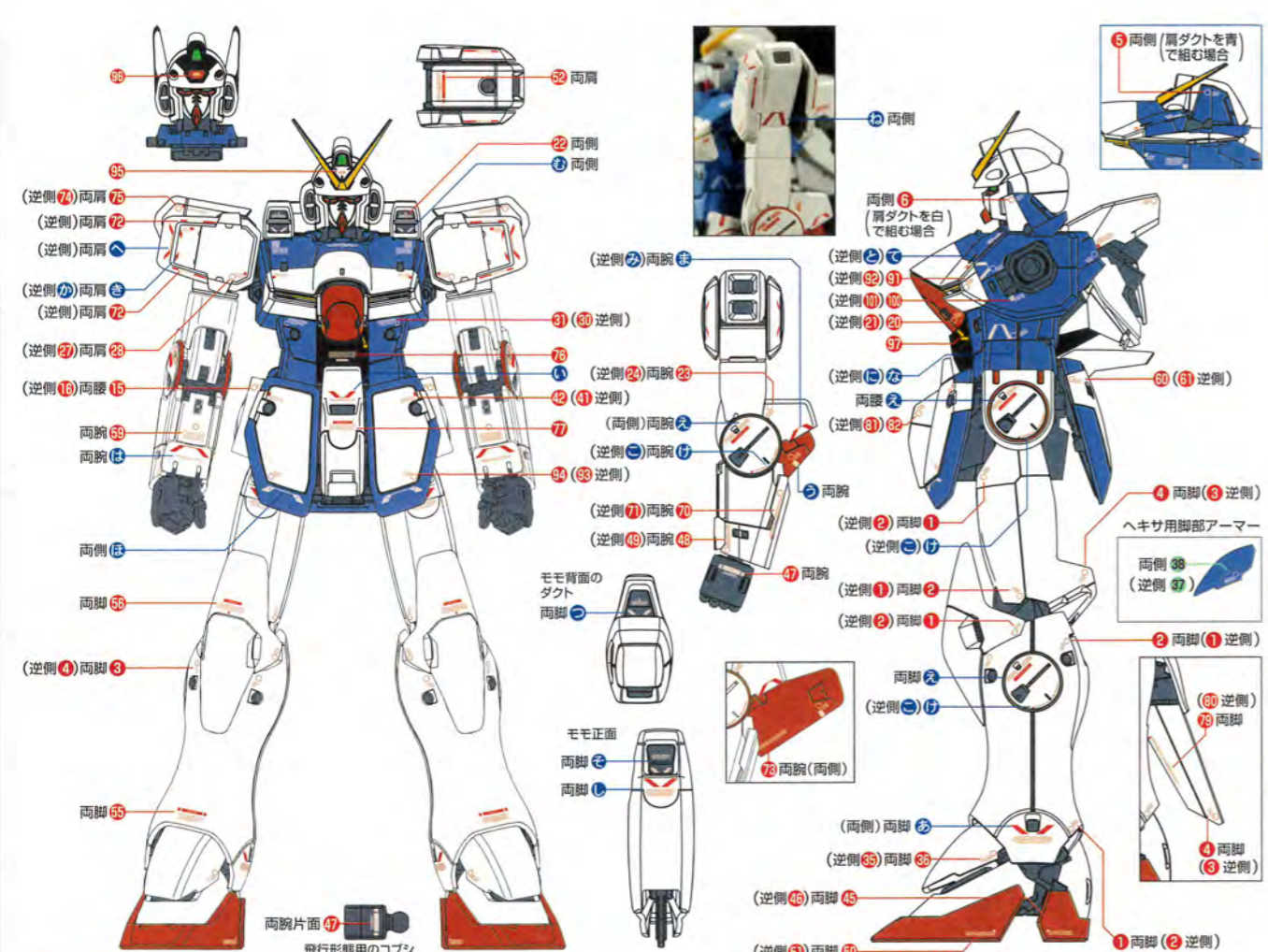
16-5



16-6



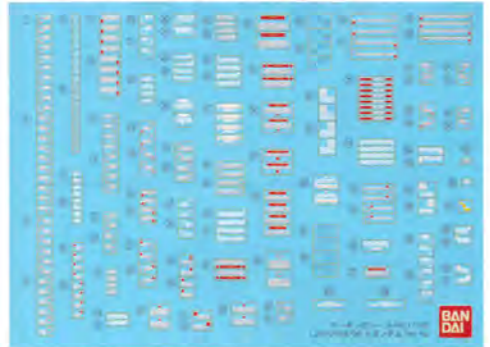
PARTS LIST CORE BOOSTER WEAPONS ARMS TOP RIM WAIST LEGS BOTTOM RIM WEAPONS EQUIPMENT TRANSFORMATION



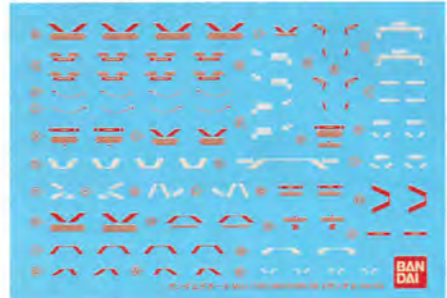
COMPLETE DIAGRAM for painting and applying decals

- コア・ファイター用のマーキングシール。ガンダムデカールは2機分が付属しています。
- マーキングシールをさらにきれいに貼りたい場合は、透明な余白をあらかじめカッター等で切り取ってお貼りください。
- 指示の無い部分を貼る場合には、イラストを参考にしてください。
- 余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。

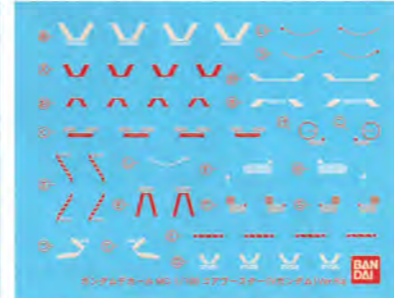
■マーキングシール(Vガンダム用) ①~⑩



■ガンダムデカール(Vガンダム用) ㉗~㉛



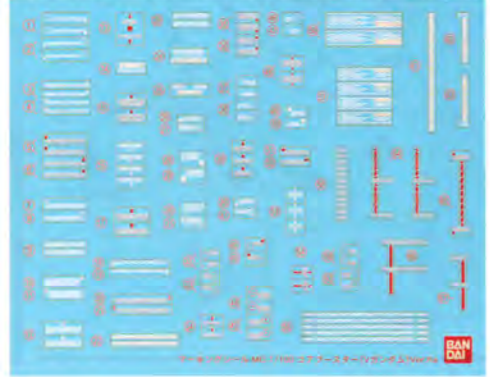
■ガンダムデカール(コア・ブースター用) ㉜~㉝



■ガンダムデカールの貼り方

1. 転写するマークを大きめに切ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペンなどの先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすりつけます。

■マーキングシール(コア・ブースター用) ①~⑥



LM312V04+SD-VB03A V-DASH GUNDAM "Ver.Ka"

COLOR CHART used paints and mixture ratio

- 【白】 ホワイト100%
- 【赤】 モンザレッド45%+シャインレッド45%+クリアレッド5%+蛍光オレンジ5%
- 【青】 ホワイト40%+コバルトブルー 35%+インディゴブルー 20%+蛍光レッド5%+クリアレッド少量
- 【黄】 オレンジイエロー 50%+ホワイト 40%+蛍光オレンジ 10%
- 【武器1】 ミッドナイトブルー 70%+マホガニー 20%+ホワイト10%
- 【武器2】 ホワイト40%+ミッドナイトブルー 40%+マホガニー 20%
- 【黒】 ミッドナイトブルー 90%+ホワイト10%
- 【カメラライ】 クリアー 50%+クリアーグリーン35%+クリアーブルー 15%

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。
 ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。